

社会資本総合整備計画（広域連携事業） 中間評価書

平成 25 年 9 月 11 日

計画の名称	2 石川～富山における広域交流活性化計画		交付対象	石川県（富山県と連携）											
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）														
計画の目標	温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と富山県が密接に連携し、平成26年度に金沢まで開業予定の北陸新幹線や北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または観光拠点施設同士を相互に連絡する広域的な周遊観光ルートを整備することにより、観光交流人口増大させ、地域振興を図る。 また、両県が連携して、より広域的な観光PRを実施することで、広報活動の効率化を図る。														
計画の成果目標（定量的指標）	・【石川県・富山県 共通目標】 観光客数3,846万人(H21)から4,425万人(H27)に増加（580万人の増加）														
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考								
				当初現況値 (H21)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)									
① 【石川県・富山県 共通目標】 観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H21の年間観光客数) / (H21年間観光客数)				3,846万人	4,136万人	4,425万人									
【石川県 目標】 高速ネットワーク確保率 (高速ネットワーク確保率) = 評価時点の整備済路線延長 / 「ダブルラダー結いの道」整備構想指定路線延長				77%	81%	84%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	12,139百万円	A	11,676百万円	B	百万円	C	463百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.8%					
<b>事後評価</b>															
○中間評価の実施体制、実施時期															
中間評価の実施体制					中間評価の実施時期										
石川県において評価を実施					中間年度終了後										
					公表の方法										
					石川県ホームページで公開										
<b>2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>															
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・国道249号藤橋バイパスの整備により、七尾市街地で発生していた交通渋滞が削減された。 ・国道304号梨木道路の整備により、富山県との県際道路が整備され、広域連携に資する基盤が整備された。												
II 定量的指標の達成状況		指標①（観光客の増加割合）	中間目標値	4,136万人	目標値と実績値に差が出た要因	平成23年度に発生した「東日本大震災」等の影響により、全国的に観光客が減少し、その影響が石川・富山両県にも出たため想定したより観光客の増加割合が低くなった。									
			中間実績値	3,885万人											
		指標②（高速ネットワーク確保率）	中間目標値	81%	目標値と実績値に差が出た要因						計画的な事業実施により、目標が達成された。				
			中間実績値	81%											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
<b>3. 特記事項（今後の方針等）</b>															
・最終目標値達成に向け、引き続き、道路整備を進めていく。 ・平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に向けて、観光客が県内各地を周遊できるよう、道路整備を進め、目標指標を達成できるよう努める。															